

第20回特別支援教育ミニセミナーin 山形

問題行動への支援

事前にできること、事後の対処

日時 令和8年8月1日（土） 13:30～16:30

場所 霞城セントラル3階 山形市保健センター 大会議室

〒990-8580 山形市城南町 1-1-1

内容 ◆講演1：「児童生徒の問題行動への対応

～問題の背景を理解する大切さと難しさ～

◆講演2：「非行をどうとらえるか ～小児科医の立場から～」

現在、教育現場や医療現場が抱える問題行動は増加しています。素行不良、非行に限らず、ゲームへの課金や暴力、睡眠時間、メディアなどの家庭の課題が医療や学校に影響を与えるケースもあります。

そのような問題行動や対応困難な課題を抱えている子どもたちを守るために、周囲の私たちができることは何なのか、もし起こってしまったときにどのような対処の流れになるのか。今回は「問題行動への支援」について、少年鑑別所からの視点を交えながらお話しいたします。



やまがた法務少年支援センター
マスコット「コジラ」

講師

◆仙台少年鑑別所山形少年鑑別支所 支所長
元総務省大臣秘書課、法務省矯正局員

大橋 美子 氏



福島県相馬市出身。筑波大学で心理学、兵庫教育大学大学院で臨床心理学を専攻後、精神科・心療内科クリニックで臨床心理士として活躍する。

法務省採用後は、東京八王子（現 東京西）・横浜少年鑑別所の鑑別部門にて、非行少年のアセスメントを担当。人事院へ出向後、法務省大臣官房秘書課、法務省矯正局に勤務。静岡少年鑑別所鑑別部門にて主席専門官として活躍。令和6年4月より現職。

臨床心理士。公認心理師。高校公民、学校心理の専修免許状を持つ。

◆社会医療法人 二本松会 かみのやま病院 医師
「にゃっき〜ず」理事

横山 浩之 氏



東北大学医学部卒。発達障害を中心とした子どもの行動異常のスペシャリスト。診断・療育から子育て支援まで、医療と教育との連携が研究テーマ。ペアレント・トレーニングの指導も行っている。東北大学病院小児科に知的発達支援外来を創設。山形大学医学部看護学科教授、福島県立医科大学をへて、令和8年4月より現職。

著書「マンガでわかる よのなかのルール」（小学館）など。

日本小児科学会・小児神経学会専門医。医学博士。

主催 特別支援教育セミナーin 山形 実行委員会（代表：武田 豊己）

共催 いいい醫院

後援 山形県教育委員会

日 程

13:00 開場

13:30～15:00 「児童生徒の問題行動への対応

～問題の背景を理解する大切さと難しさ～」 （大橋美子氏）

15:10～15:50 「非行をどうとらえるか～小児科医の立場から～」 （横山浩之氏）

16:00～16:30 Q & A （大橋美子氏、横山浩之氏）

資料代

1,000円 当日、受付でお支払いください。

申し込み方法 Google form、FAX、メールのいずれかでお申し込みください。

- ①Google form から <https://x.gd/cNtp8> →→→
- ②メールから murayama@toyoki.org FAXと同じ内容を送信ください。
- ③FAXから 下の送信票をお使いください。添書は不要です。



第20回特別支援教育ミニセミナーin 山形 FAX送信票

申し込み先 (050) 3101-3222 jFax

※参加者名簿作成の都合上、複数名お申込みの場合、 すべての方にふりがな をお書きください。	
ふりがな	
代表者	(所属)
	(所属)
	(所属)
	(所属)
代表者電話番号 () 個人 () 所属先	
代表者メールアドレス	

その他 お問い合わせは、メールでお願いいたします。

お送りいただいた情報は、このセミナーでのみ使用いたします。

特別支援教育セミナーin 山形 実行委員会とは

2006年に設立しました。家庭、教育、医療、福祉等との連携によって子ども達の健やかな成長を支援する団体です。

これまで、全日のセミナーを12回、半日のミニセミナーを19回開催し、のべ3,000名以上の方々からご来場いただきました。